

2025.6.18 第 257 回月例情報市場

情報市場では、安心安全な場づくりとして、いつも自己紹介から始まります。

込山会長のファシリテーションで、各参加者が順番に自身の活動や持参したチラシについて話しました。

腹話術サークル 笑いのワ樋口さん、小沢さんより、2024 年度ささえあい応援金の事業報告がありました。チラシを作成し、活動場所やいっこく堂さんのライブでも配布。腹話術用の人形が必要と思われがちだが、靴下や紙コップでパペット人形が簡単に作れるそうです。会員が増えないのがお悩み。保育士、看護師、介護福祉士の学校に問合せ予定。



就労移行 IT スクール 片岡さん小池さんより、最近東口にできたこと、発達障

がいやメンタル不調などの 18 歳～65 歳が対象(20 代中心、高校生もいる)、コミュニケーションが苦手な方が多いなど説明がありました。

利用者が少ないので、どういうところに PR したらいいかという相談があり、参加者全員で知恵を絞りました。ふれあい福祉センター2 階まいさぽにもパンフレット配置。長野県社協の「わかさぽ Base」若者サポート拠点(長野市東鶴賀町)についても情報提供がありました。

フリースクール未来 島田さん 松代校の 3 つのポイントとして、1. 朝 7 時～

夜 9 時まで対応！ 2. 家族丸ごと支援体制！ 3. 生活と自立の訓練を個別に！ということを説明しました。主に不登校の子ども達が通っています。

セカンドぼたん 吉田さん 制服のリユースをしており、様々な家庭の状況、お悩

みを聞くことが多いという話しをしてくれました。不登校だから制服を着る機会が少ないので、新品の学生服を買ってもらうのは子どもの心理的負担になっているそうです。リユースであれば気持ちが楽。利用するお母さんから、就労支援出た後が心配という声も聞く。子どもたちは真面目だからすべて受け止めてしまう。抜け道を探してあげる、型にはめないことが大事と吉田さんの考えを話してくれました。

入学式、卒業式写真取れなかった子どもたちを支援したいと考えており、カメラマンとコラボを考えている。

信濃毎日新聞 𪛗(いなづか)さん

知らない世界、記事にできていないマクロな世界があると感じた。情報交換したいと感想を述べました。

込山会長から、出会い、横のつながりが大事というまとめの一言で終了しました。

子どもへの支援として、出会える、横のつながりができる場として情報市場を活用していただきました。次回もどんな出会いがあるか楽しみに！お待ちしております。



情報市場が終了した後も名刺交換、情報交換が続きます

次回 7月16日(水)19時～20時

ふれあい福祉センター4階

*ささえあい応援金の受領式があります